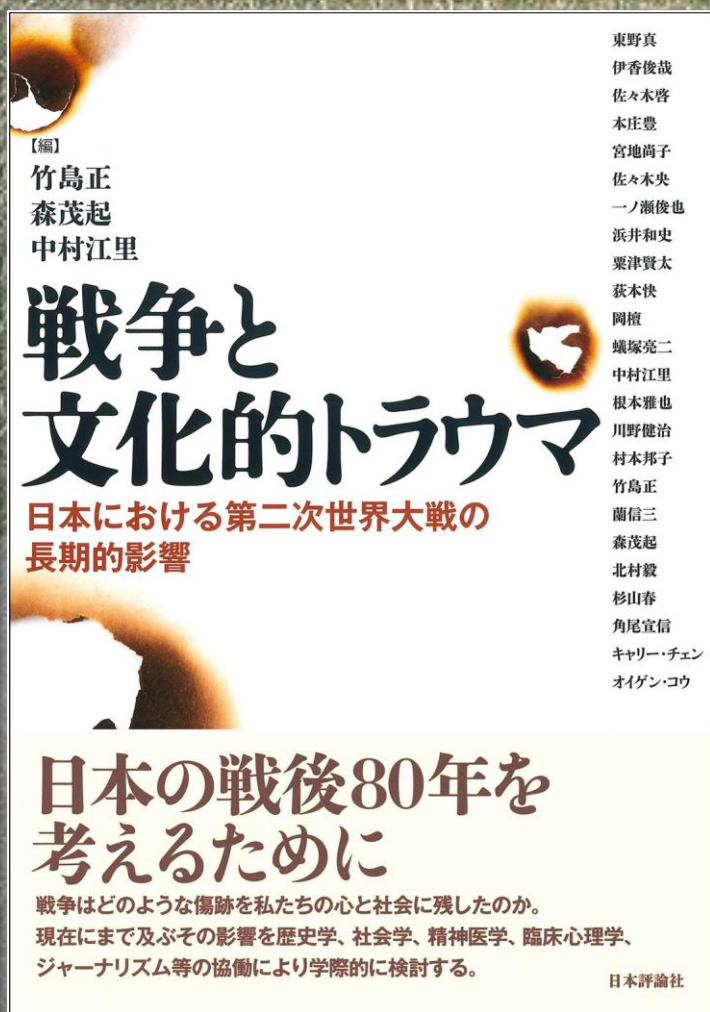


『戦争と文化的トラウマ』出版記念イベント  
日本における第二次世界大戦の長期的影響に関する学際シンポジウム2023

# 文化的トラウマからの回復

トラウマは、個人、家族だけでなく、社会・文化にも影響を与え、世代を超えて伝わっていきます。第二次世界大戦は30カ国が関与し7,000万人以上が亡くなった世界史上最悪の戦争でした。これまでの研究は、世界のさまざまな国や地域において、第二次世界大戦が社会全体に長期的な影響を及ぼしていることを明らかにしてきました。しかし日本における第二次世界大戦のトラウマと長期的な影響についての研究は十分に共有されてきませんでした。このため、私たちは、実行委員会を組織し、日本における第二次世界大戦のトラウマとその長期的な影響について学際的に話し合うシンポジウムを開催してきました。そして2023年度からは、文化的トラウマからの回復へ向けて、新たに学際シンポジウムに取り組むこととしました。このイベントはその船出となるものです。ご参加をお待ちしております。



【編】  
竹島正  
森茂起  
中村江里

## 戦争と 文化的トラウマ

日本における第二次世界大戦の  
長期的影響

東野真  
伊香俊哉  
佐々木啓  
本庄登  
宮地尚子  
佐々木央  
一ノ瀬俊也  
浜井和史  
粟津賢太  
萩本快  
岡楢  
織塚亮二  
中村江里  
根本雅也  
川野健治  
村本邦子  
竹島正  
藤信三  
森茂起  
北村毅  
杉山春  
角尾宜信  
キャリー・チェン  
オイゲン・コウ

日本の戦後80年を  
考えるために

戦争はどのような傷跡を私たちの心と社会に残したのか。  
現在にまで及ぶその影響を歴史学、社会学、精神医学、臨床心理学、  
ジャーナリズム等の協働により学際的に検討する。

日本評論社

日時 2023年6月10日（土）

14:00-17:00

場所 立命館大学 大阪いばらき  
キャンパス B棟2階B275教室  
(ハイブリッド開催)

参加費 無料 (懇談会17:30-19:30 3,000円)

申し込み・詳細は特設サイトにて  
[https://scholars-net.com/cultural\\_trauma/](https://scholars-net.com/cultural_trauma/)



『戦争と文化的トラウマ』出版記念イベント  
日本における第二次世界大戦の長期的影響に関する学際シンポジウム2023

— 文化的トラウマからの回復 —

日時 6月10日（土曜）14時～17時

場所 立命館大学 大阪いばらきキャンパス B棟2階B275教室  
（ハイブリッド開催）

参加費 無料（懇談会参加は3,000円）

プログラム

14:00～14:20

挨拶 竹島 正（一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会会長）  
森 茂起（学際シンポジウム実行委員会代表）

14:20～14:50

基調講演「太平洋戦争の文化的トラウマからの回復」  
オイゲン・コウ（立命館大学（人間科学研究所）客員研究員、  
メルボルン大学人口・国際保健学部上級研究員）

14:50～15:00 休憩

15:00～16:00 「文化的トラウマからの回復に向けて」

木谷陽平（日本評論社）  
川野健治（立命館大学総合心理学部教授）  
中村江里（広島大学大学院人間社会科学研究所准教授）  
栗津賢太（上智大学グリーンケア研究所客員研究員）  
松永健聖（大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程）  
キャリー・チェン（王立オーストラリア・ニュージージー  
ランド精神医学会精神科研修医）

16:00～16:50 ディスカッション

16:50～17:00 閉会のあいさつ

※17時30分から19時30分まで会場を変えて懇談会を行います。  
こちらもどうぞご参加ください。参加費は3,000円です。

The image of this flyer is from Albert György, *Mélancolie*, 2012 (public domain: 43641849895) Genève, Suisse, Artiste roumain et suisse, ce bronze prend place sur la Rotonde du Mont-Blanc, également nommée "Carré des sculpteurs" par l'Association des sculpteurs de Genève (ASdG). <http://www.albert-gyorgy.ch/fonderie-art-gey>

主催 日本における第二次世界大戦の長期的影響に関する学際シンポジウム実行委員会  
協力 立命館大学人間科学研究所  
日本評論社  
一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会